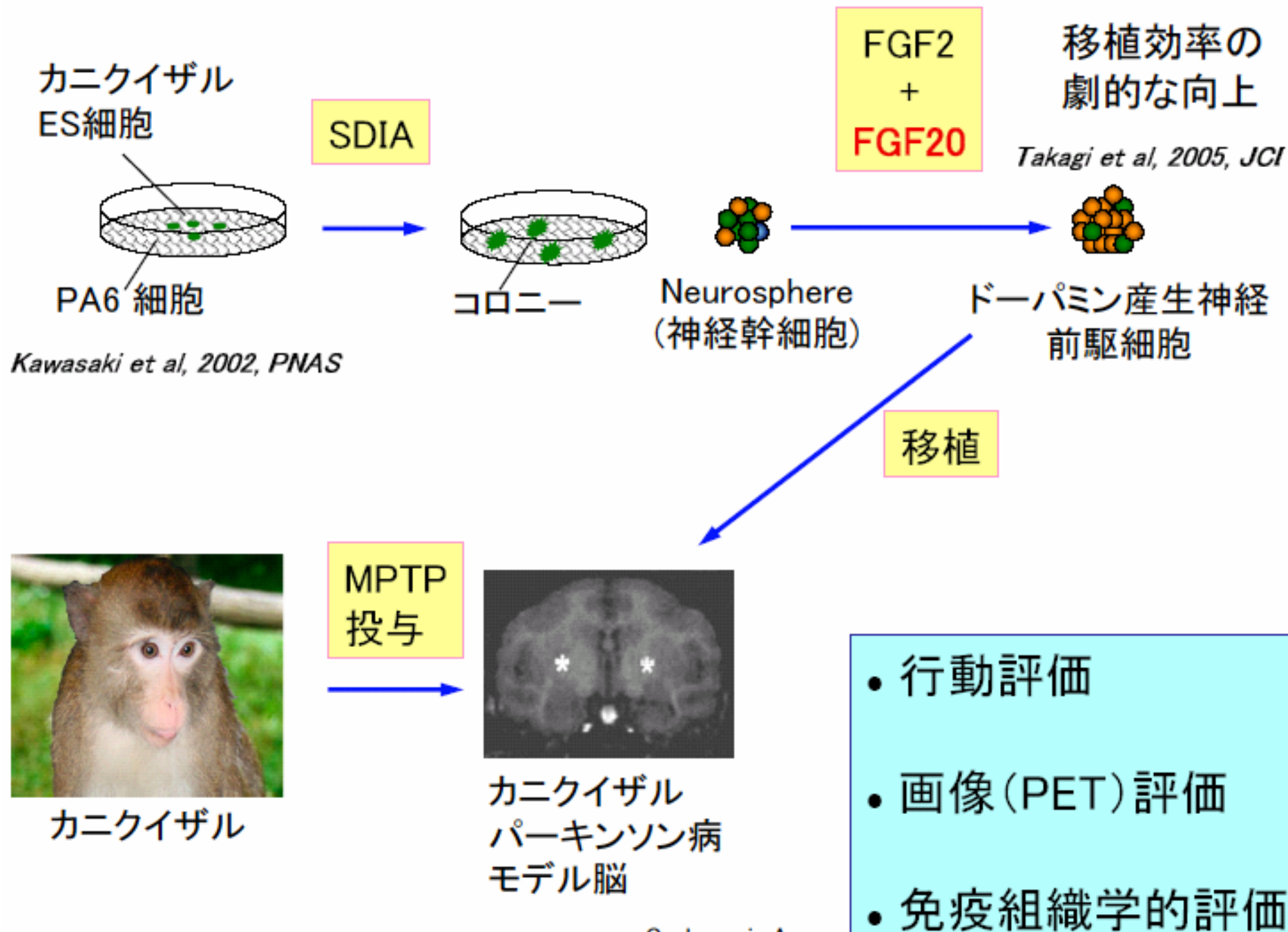
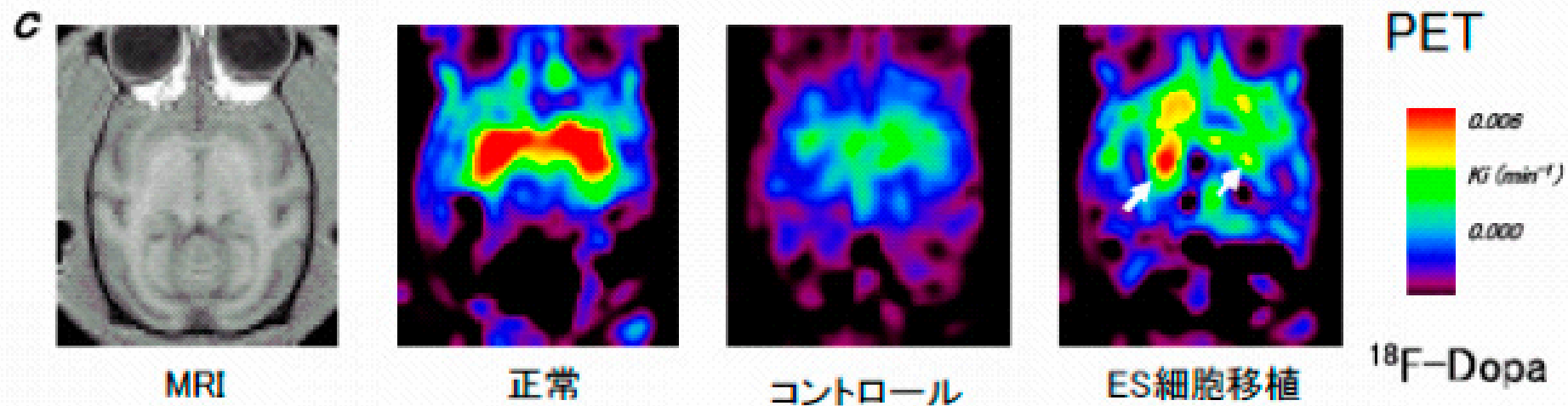
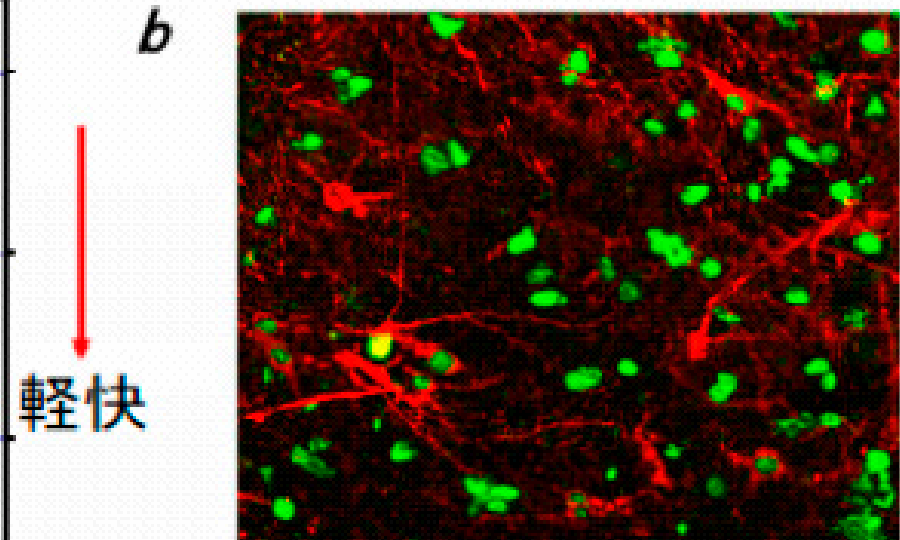
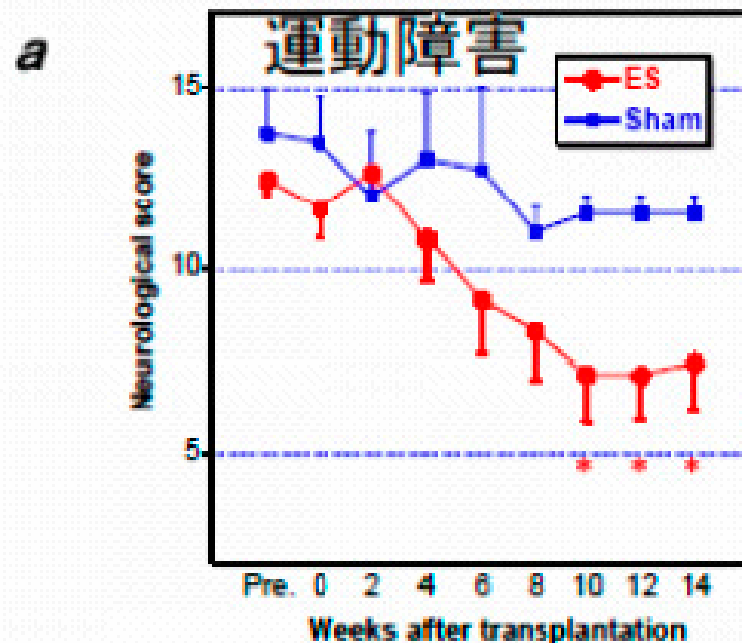


サルでの細胞移植研究

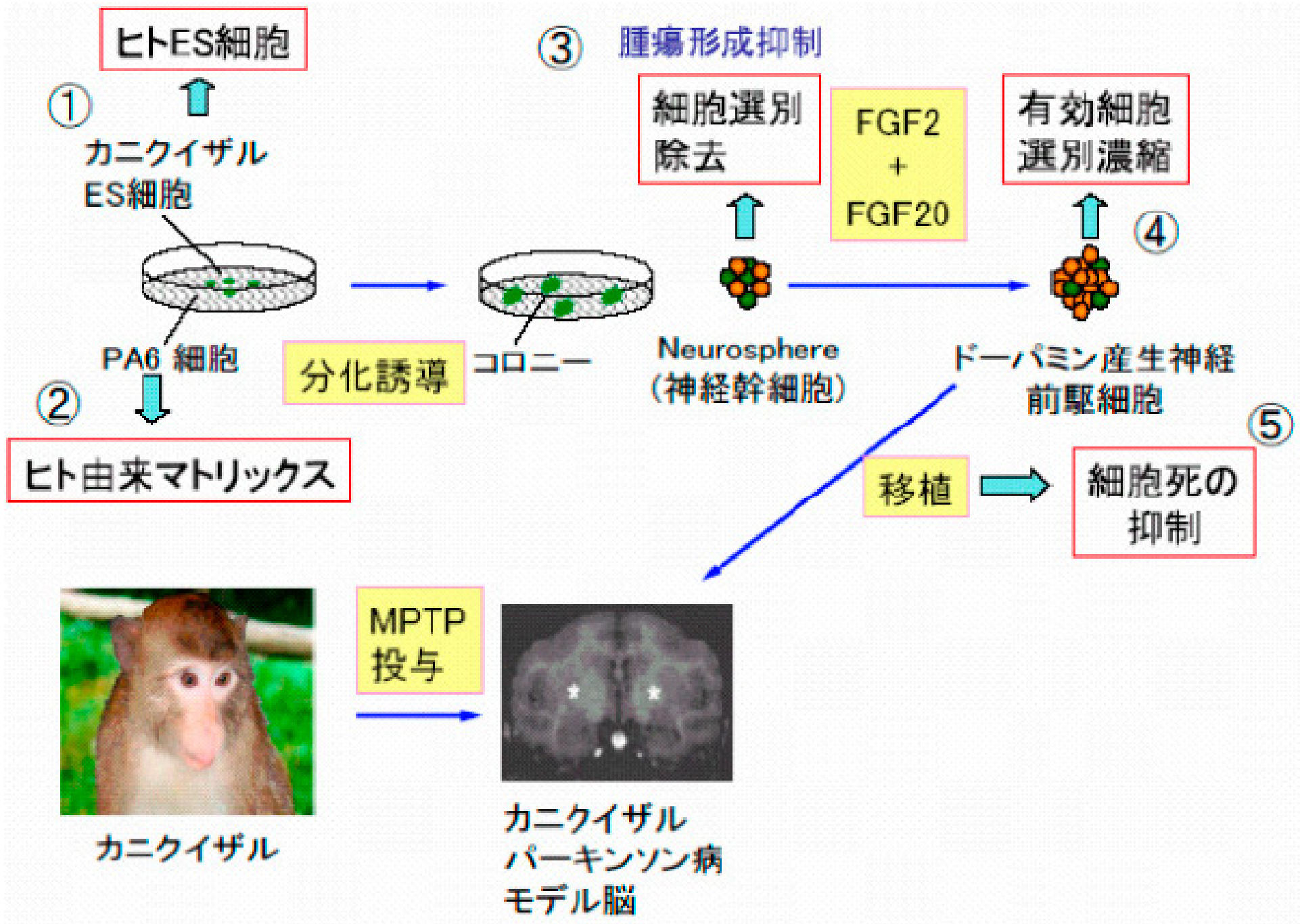


京大病院
(高橋ら)

神経症状の有意な改善と移植の細胞生着、フルオロドーパの取り込み上昇がみられた



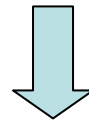
Takagi et al. J. Clin. Invest. (2005)



臨床応用への取り組み(技術面)

ヒトES細胞の研究の進歩 (維持培養、大量培養)

従来、マウスES細胞に比して、
ヒトES細胞の培養は大変難しかった
(未分化性維持シグナル、細胞死の制御)



基本操作はマウス並みに
近づいている

2007年現在、理研 発生・再生センター

- ① 無血清培地での培養
- ② 無フィーダー細胞下の培養
- ③ 単一分散細胞からの培養

Nature Biotechnology (2007) in press

が可能となっている
(丹羽、笹井ら: **未発表データ**)